

平成28年度版

# わたしたちの 新潟県

【新潟県小学校教育研究会】



**内容見本**

**オールカラー**

**100ページ**



新潟県宣伝課長「トッキッキ」

小学校  
社会科  
3・4

野島出版



小学校社会科3年・4年

『わたしたちの新潟県』  
(平成27年度版)は、  
新潟県の78パーセントの小学校  
で採用され、約16,000名の児童  
が使っています。

『わたしたちの新潟県』は、新潟県小学校教育研究会社会科部の先生方（上・中・下越・佐渡から選ばれた10名）で編集委員会を組織し、文章の検討・写真の入れ替え、各種グラフ更新、さらに全体を通して毎年見直しをして発行しています。

昨年度も、「調べてみましょう」や県内各地を紹介する「コラム欄」を新設しましたが、さらに今年度はそれに加えて、「②人々の暮らしとまちづくり」に各地域の産業に関わる人の話を聞いた「インタビューコラム」も設けました。また、トッキッキの他にもイラストを多くとり入れ、本文の脇に行数字も入れました。より親しみやすく、わかりやすく、そして教えやすくなりました。

学習指導要領に準拠し、県についての学習、地域の産業や人々の生活の学習が、グラフやイラスト・写真・本文をとおして、読むだけで理解できる内容となっています。ぜひご採択いただけますようお願い申し上げます。

地域の人々の暮らしや仕事  
のようすがよくわかる  
インタビューコラム

#### P55 豊栄地区の産業（農業）においては—

**インタビュー** 「やきなす」農家の渡辺良男さんの話



「なすは水で育つ」と言われるように、やきなすづくりに  
は水の管理がとても大切です。この地区は、砂丘地なので  
1日に何度も畑に行ってなすや土の様子を見ます。収穫は、  
5月下旬から10月いっぱいまでです。朝4時～9時まで収  
穫し、その後箱づめをして、夕方に直接市場に届けます。50年くらい前  
からこの地区で育てられてきた、このやきなすを守り育てていきます。

#### P63 佐渡の文化遺産については—

**インタビュー** 「佐渡金銀山」世界遺産推進課 宇佐美 亮さんのお話



400年以上にわたり金銀を産出し、鉱山に関係した遺  
跡や集落、絵巻物などが多く残されています。江戸時  
代には金銀の生産に使う鉛が、外国から長崎の出島を  
経由して佐渡に運びこまれました。金を求めた人びと  
の手で掘り割られた「道遊の割戸」をぜひご覧ください。

#### P60 上越市安塚区のまちおこしでは—

**インタビュー** 「ゆきたるま物産館」増野秀樹さんのお話



これまででする場所に困っていた雪を有効活用  
しようと、雪冷房システムが考えられました。物  
産館では、1995（平成7）年の開業当時から利  
用されています。省エネで、夏の間を使う冷房代  
を節約できるところが良い点です。また、雪の残り具合を見て調節  
しながら使うことができます。一方で、雪室（雪をためておくところ）  
に、雪と一緒に入ってしまう土砂を清掃する作業が大変です。

#### P66 十日町の伝統産業においては—

**インタビュー** 十日町市で、きものづくりにほげむ高橋金治さんのお話



きものは、主に女性が着ることが多いものなので、着るこ  
と自体を楽しめるようなきものを作ることを心がけています。  
そのために、どんなデザインや色が流行しているかを調べ  
たり、手作業で、ていねいに色をつけたりしています。

編集委員の先生方が  
実際に話を聞いてきました



## 3年生・4年生のみなさんへ

にいがたけん  
新潟県は、すばらしい県です。

新潟県には、海や川、へいち平地や山などゆたかな自  
ぜん然があり、人々の生活や地いきのはってん発展につくす  
多くの人々がいます。みなさんは、これから2  
年間にわたり、自分の住む市や町や村、そして、  
新潟県のようにすについて学習します。

『わたしたちの新潟県』は、しゃしん写真や図・グラフなどをたく  
さん使つかって、学習しやすいように作られています。

3年生・4年生のみなさんが、新潟県について学習して、  
新潟県のすばらしさを知り、新潟県を今よりもっとすきにな  
ってくれることをねがっています。

新潟県にいがたけん小学校教育研究会 会長 こん どう あきら 近藤 朗



自分たちの住んでいるまちは、どんなまちな  
のでしょうか。写真、地図、グラフ、ひょう図や表な  
どを使って、いろいろな新潟県のまちとくらべ  
てみると、たくさんのはっけん発見やぎもんが生まれます。

『わたしたちの新潟県』で書かれていることと、じっさい実際にみ  
なさんが見学して、目で見たこと、耳で聞いたことをつなぎ  
あわせて、新潟県のようすをしら調べてみてください。

あわせて、人に直せつたずねたり、本やインターネットで  
調べたりすると、さらにたくさんのことが分かります。

3年生・4年生のみなさん、楽しく社会科を学習してくだ  
さいね。

## 県の花・チューリップ



新潟県は、日本ではじめてチューリップを作ったところと言われており、五泉市、新潟市周辺でたくさん作られている。  
(昭和38年8月23日に県の花として定められた。)

## 県の鳥・朱鷺



国際保護鳥「トキ」の数は現在約315羽である。平成20年から毎年放鳥が行われている。  
(昭和40年9月13日に県の鳥として定められた。)

## わたしたちの新潟県 平成28年度版 もくじ

近年起きた大きな災害	4
復興から創造へ	6
<b>①わたしたちの新潟県のようす</b>	7
<b>①自然のようす</b>	
新潟県をかこむ山々	8
川と平野と盆地	9
岩石海岸と砂浜海岸	10
佐渡島と粟島	12
<b>②気候のようす</b>	
雪の多い新潟県	13
雪をふらせる季節風	14
気温とフェーン現象	15
<b>③産業のようす</b>	
農業	16
林業	21
水産業	23
工業	26
<b>④主な都市</b>	
県都新潟市と下越地方	30
長岡市と中越地方	35
上越市と上越地方	38
<b>⑤交通</b>	
道路	41
鉄道	45
航路	48
航空路	50
<b>②人々のくらしとまちづくり</b>	51
新潟県の市町村	52
<b>①ゆたかな自然を生かしている新潟市北区(豊栄地区)</b>	
位置と自然のようす	53
産業と人々のくらし	54
魅力あるまちづくり	56

ゆきつばき  
県の木・雪椿



ユキツバキは、日本海側の雪の多い山地に分布する。新潟県の気候に適し、じょうぶで栽培もかんたんである。  
(昭和41年8月27日に県の木として定められた。)

ゆきわりそう  
県の草花・雪割草



雪割草は、雪どけのあとに花を咲かせることから、このような名前がある。葉の形から、オオミスミソウとも呼ばれている。  
(平成20年3月1日に県の草花として定められた。)

②雪を生かしている上越市安塚区

位置と自然のようす	57
産業と人々の暮らし	58
雪や土地を利用したまちおこし	59

③伝統文化と環境を大切にする佐渡市

位置と自然のようす	61
産業と人々の暮らし	61
ゆたかな自然環境・文化を生かして	63

④伝統産業で発展した十日町市

位置と自然のようす	65
産業と人々の暮らし	66
未来をひらくまちづくり	67

③県外や外国との結びつき 69

①品物を通じた県外や外国との結びつき

農産物	70
原料や製品	73

②外国との交流

小・中学生や高校生などの国際交流	76
姉妹都市などとの交流	77
県内に住む外国の人々との交流	78
芸術などの交流	79
スポーツの交流	80

---

○新潟県地図	表見返し
○日本全図 都道府県と都道府県庁所在地	うら見返し
○新潟県の主なまつりや行事	81
○下越・中越・上越・佐渡地方の地図	82~88
[資料1] 県内各地の月別平均気温と降水量	89
[資料2] 市・町・村の統計	90
[資料3] 新潟県の山・川・湖	94
[資料4] くわしく調べてみましょう	95
[資料5] 「わたしたちの新潟県」学習年表	96

# 近年起きた大きな災害

## 7.13水害と新潟県中越地震

2004（平成16）年には、大きな災害が二つ発生しました。

7月12日夜から13日にかけて、中・下越地方を集中豪雨がおそいました。

この大雨により、五十嵐川や刈谷田川

の堤防が破れ、三条市、見附市、中之島町（現在は長岡市）では多くの家が水につかり、田や畑の作物が流されるなど、大きな被害を受けました。

10月23日、午後5時56分ごろ、中越地方はマグニチュード6.8の強い地震におそわれました。川口町（現在は長岡市）では震度7、小千谷市、魚沼市、長岡市では震度6強を観測しました。多くの家がこわれ、電気やガス、水道が止まりました。山が崩れ、鉄道や多くの道路が不通になり、けが人やなくなられた人も出ました。

この二つの災害の後、国や県などによる復旧工事が急いで進められました。また、大ぜいのボランティアも復旧の手伝いに参加し、全国から援助の手がさしのべられました。

## 新潟県中越沖地震

2007（平成19）年7月16日、午前10時13分ごろ、中越地方の沖、深さ17kmで、マグニチュード6.8の強い地震が発生しました。柏崎市や刈羽村、長岡市小国などで震度6強が観測され、強い余震がつつぎました。



救助される人々  
（三条市・平成16年7月13日）



柏崎市や刈羽村を中心に多くの家が  
こわれ、けが人やなくなられた人も出  
ました。この地震でも復旧工事が急い  
で進められました。また、全国各地、  
さらに海外からも救援物資や義援金が  
とどけられました。そうしたおかげも  
あって、仮設住宅に住んでいた人たち  
は市営住宅に移るなどして、新しい生  
活をはじめました。



こわれた家 (柏崎市・平成19年7月)



復旧した商店街  
(柏崎市東本町通り・平成20年9月)

## 新潟・福島豪雨

2011 (平成23) 年7月27日から30日にかけて、新潟県・福  
島県にふたたび集中豪雨がおそいました。新潟県では、新潟市、長  
岡市、三条市、十日町市などをはじめ多くの市や町で大きな被害を  
受けました。この豪雨でも多くの家がこわれ、道路が土砂でふさが  
り、けが人やなくなられた人も出ました。

## 東日本大震災と長野県北部地震

2011 (平成23) 年3月11日、宮城県の沖でマグニチュード9  
という巨大地震が発生しました。地震後に大津波が起こり、2万人  
近くがなくなられたり行方不明になったりしました。この地震で福  
島県から避難してきた大ぜいの人を県内の市や町で受け入れていま  
す。また、よく日の3月12日には、長野県北部地震が起こり、十  
日町市、上越市、津南町も大きな被害を受けました。

### 自然災害から身を守るために

新潟県だけでなく、日本全国で地震や水害などの自然災害が起  
きています。国や県は災害からわたしたちの身を守る取り組みを  
行っています。しかし、大切なことは自分の命は自分で守るというこ  
とです。わたしたちにできることを学級で話し合ってみましょう。



豊栄地区では、福島潟のゆたかな自然を残し、人と自然がふれあい、ともに生きていけるように「水の公園福島潟」として、その整備をすすめています。



環境と人間のふれあい館～新潟水俣病資料館～

福島潟周辺には、2001（平成13）年に、新潟水俣病を教訓として、水環境の大切さを多くの人に知ってもらおうと、「環境と人間のふれあい館～新潟水俣病資料館～」が

開かれました。水の駅「ビュー福島潟」や、温水プール「遊水館」とともに、水についての総合公園になっています。

## 産業と人々の暮らし

豊栄地区は、新発田市と新潟市中心部を結ぶ新新バイパス（国道7号）や、Jアラ白新線が通っています。また、日本海東北自動車道の豊栄新潟東港インターチェンジもあり、新潟東港や、新潟空港も近くにあります。

新潟市中心部や新発田市への通勤や通学に便利なので、新しい住宅団地が次々とでき、豊栄地区の人口は約5万人になりました。



豊栄の土地のようす

また、豊栄地区は、国道、鉄道、港、空港が近くにあつて、原料や製品を運ぶのに便利なことや、広い平地があることで北部工業団地と中部工業団地ができ、工業が発展してきています。

新潟東港は、輸入品の流通の基地

5 として国から指定を受け、1996（平成8）年に大型のコンテナ船が出入りできる埠頭がつくられ、外国との貿易がさかんに行われています。



新潟東港コンテナ埠頭

10 また、工業製品ばかりではなく、伝統のある「豊栄仏壇」や、阿賀野川のゆたかな水を生かした酒、みそ、つけものなどもつくられています。



豊栄仏壇をつくっているところ

15 農業は、整備された水田での米づくりが中心です。北部の砂丘地を中心に野菜やくだもの、花、たばこなどのさいばいもさかんに行われています。

野菜では、トマト、なす、にんじん、くだものでは、なし、ぶどうの産地として有名です。最近では、全国でもめずらしい大きな品種のなす「やきなす」の生産にも力を入れています。



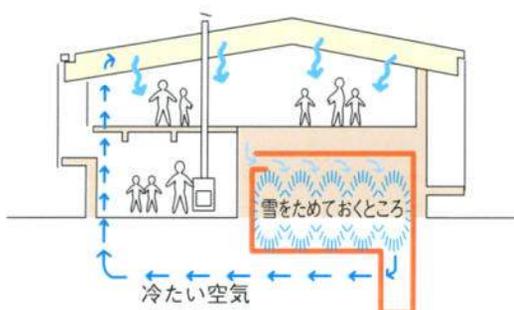
### インタビュー「やきなす」農家の渡辺良男さんの話

「なすは水で育つ」と言われるように、やきなすづくりには水の管理がとても大切です。この地区は、砂丘地なので1日に何度も畑に行つてなすや土の様子を見ます。収穫は、5月下旬から10月いっぱいまでです。朝4時～9時まで収穫し、その後箱づめをして、夕方に直接市場に届けます。50年くらい前からこの地区で育てられてきた、このやきなすを守り育てていきます。

けん 験」を行っています。主に、かんとう ちほう 関東地方の小・中学生や高校生がさん か 参加し、年々その数もふえています。地元の人々がし どう 指導者となって、米づくりやきょうどりょうり 郷土料理、自然に親しむ体験などのおせわ 世話をしています。この活動には、自然とともに生きてきた人々のくらしと雪国の文化



雪のまち みらい館



雪冷房のしくみ

を、次の世代へつなげたいという人々の願いがこめられています。

安塚区では、「雪の冷たさを夏に使えたら」という考えから、全国的にもめずらしい雪を利用した冷房や米などの貯蔵方法の研究にも取り組んでいます。区の小・中学校や「雪のまち みらい館」や「ゆきだるま物産館」など13の施設では、夏のあいだ「雪冷房」が活やくしています。今後は一般の家庭でも、雪冷房の活用が期待されています。



**インタビュー 「ゆきだるま物産館」 増野秀樹さんのお話**

これまですてる場所に困っていた雪を有効活用しようと、雪冷房システムが考えられました。物産館では、1995（平成7）年の開業当時から利用されています。省エネで、夏の間を使う冷房代を節約できるところが良い点です。また、雪の残り具合を見て調節しながら使うことができます。一方で、雪室（雪をためておくところ）に、雪と一緒に入ってしまう土砂を清掃する作業が大変です。

### 3 伝統文化と環境を大切にする佐渡市

#### 位置と自然のようす

佐渡島の面積は855.34km<sup>2</sup>、沖縄本島に次いで大きな島です。島のまわりの長さは、280.7kmあります。

- 佐渡島は、北に大佐渡、南に小佐渡の2列の山地と、これにはさまれた国中平野の三つに分けられます。国中平野の東には両津湾、西には真野湾のくびれがあって、島全体がSの字型になっています。



大佐渡スカイラインからながめた国中平野

#### 産業と人々のくらし

佐渡市は2004（平成16）年3月、10の市町村が合併して生まれました。佐渡市には、約

- 5万8000人が住んでいます。

佐渡市は水産業がさかんです。とれる魚で多いのはぶりとあじです。これらは主に大ぼう網（大型定置網）でと



寒ブリの水あげ（両津湾）

れます。特に冬の寒い時期にとれる寒ぶりは形も大きく味もいいので消費者からよこばれています。佐渡の周りには全部で16あまりの定置網があります。

いかも多くとれ、いかつりのシーズンになると、いかを集めるた



# 毎年改訂、充実した資料！

『わたしたちの新潟県』には、小学校3・4年の学習に必要な、県の地図、各市町村の統計資料、県内の道路・鉄道、まつりや行事、新潟県の年表、日本全図を収録しています。毎年、数値・データを見直し、有効に活用していただける内容となっています。

**ピックアップ**

〔新潟県地図〕 カラー刷りで地形も見やすい

〔資料2〕 市町村の統計

〔資料3〕 新潟県の山・川・湖

〔資料4〕 くわしく調べてみましょう

〔日本全図〕 地方ごとに色分けしました

〔資料2〕

**【資料2】 市・町・村の統計**

市町村名	面積	人口	人口密度	人口増加率
新潟県	12,944.19	2,520,882	194.9	-
市	3,296.0	869,443	1,123.5	-
町	522.82	19,490	37.3	-
村	9,125.38	1,631,949	177.7	-

※ 新潟県庁発表（平成27年10月1日現在）

**【資料2】 市町村の統計**

市町村名	面積	人口	人口密度	人口増加率
新潟県	12,944.19	2,520,882	194.9	-
市	3,296.0	869,443	1,123.5	-
町	522.82	19,490	37.3	-
村	9,125.38	1,631,949	177.7	-

※ 新潟県庁発表（平成27年10月1日現在）

おもしろい「まなび」新潟県をんごをつついでみましょう。

市町村の統計は、  
 面積は  人口は   
 人口増加率は  人口は   
 人口増加率は  人口は

〔資料3〕

**【資料3】 新潟県の山・川・湖**

山名	標高	山頂	山頂	山頂
1. 妙高岳	2,796	新潟県	妙高市	妙高市
2. 雲仙岳	2,387	新潟県	雲仙市	雲仙市
3. 越前山	2,381	新潟県	越前市	越前市
4. 赤松山	2,381	新潟県	赤松市	赤松市
5. 越前山	2,381	新潟県	越前市	越前市
6. 越前山	2,381	新潟県	越前市	越前市
7. 越前山	2,381	新潟県	越前市	越前市
8. 越前山	2,381	新潟県	越前市	越前市
9. 越前山	2,381	新潟県	越前市	越前市
10. 越前山	2,381	新潟県	越前市	越前市

**【資料4】 くわしく調べてみましょう**

新潟県で有名な山・川・湖を調べてみましょう。

新潟県には、  
 山は  川は  湖は   
 山は  川は  湖は

〔新潟県地図〕



〔日本全図〕

